

2023年12月8日、四ツ葉学園において、出前授業を支援する奉仕事業を実施いたしました。午後1時、現地に地域社会奉仕委員会の安部さん、久保さんと高橋郁夫アドバイザーと五十嵐が集合、会員の対応・案内等をした。平田さんが川原理事長をお迎えしお連れくださり、原会長と校長室で校長先生と教育長に挨拶等をした。午後2時5分、会場である体育館に入り、講演会が開始。講演会における写真撮影を大和さんに担当していただいた。原会長から挨拶、校長先生からのご紹介とお言葉があり、講演開始。アフリカのスーダンなどで医療・助産支援等を実施している認定NPO法人ロシナンテスの川原尚行理事長から「君たちと共に考えたいアフリカの地域医療」を演題とする講演がなされた。事前に内容等について学校側と打ち合わせをし、その内容を川原医師側に伝えておいた。そういった点もかなりご配慮いただき、講演の中で、どういった子供で学生だったか、どういう経緯でこの活動を始めたか、どのような工夫とコミュニケーションをとって現地の方に溶け込み、そこや日本の協力を取り付けたか、活動における思い(医療すなわち命を守ることを、そのためには戦争をしない・させないことこそ大事だと思う)等の話をしていただいた。聞いていた生徒全員とは行かないまでも、多くの生徒に感銘を与え、講演後の質疑応答に多くの生徒が並び、時間のため打ち切って、生徒代表の挨拶をいただき終了。

川原医師は、生徒に呼びかけ、講演会后、校長室に質問をしたい生徒が並び、遅い時間までひとりひとりお聞きし答えていらした。その後、平田さんには、川原医師と奥様を温泉にお連れいただいた。今回の事業は、読売新聞に翌日掲載され、また、四ツ葉学園からは生徒の感想を集めたデータが提出された。その感想を読むと、生徒の心、キャリア選択、人生観等に影響を与えていることがわかる。これは、認定NPO法人ロシナンテスの川原尚行理事長の経験と人としての力によるものだろう。地域の学校である伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校の生徒に何らかのエンパワーメントを行うという本奉仕事業の目的は果たせたと考えている。

今回ご出席いただいた会員は、ABC順で、安部さん、新井龍一さん、原さん、平田さん、加藤さん、久保さん、久保木さん、松島郁夫さん、松浦さん、峯岸さん、村岡さん、岡部さん、下田さん、須田さん、須藤さん、高橋郁夫さん、大和さん、山崎さん、柳井さん、由井さん、五十嵐の21名でした。そのほかに、平田さんご紹介で村岡さんと由井さんにお連れいただいたオブザーバー参加の方が数名いらっしゃいました。また、多くの会員に認定NPO法人ロシナンテスへのご寄付にご協力いただきました。いろいろとご協力くださいました、平田さん、原会長、加藤幹事、高橋郁夫アドバイザー、久保木パスト会長と地域社会奉仕委員会の委員の皆様へ感謝申し上げます。ありがとうございました。



原会長によるご挨拶



川原尚行理事長と質問者



翌日の読売新聞記事